

平成31年3月11日付【日本水道新聞】
北海道支部<北広島市・水コン協北海道が協定>
調査設計、査定も支援

北広島市・水コン協北海道が協定 調査設計、査定も支援



上野市長(左)と佐藤支部長

北広島市水道部と全国
上下水道コンサルタント
協会北海道支部は「災害
時における技術支援に関

する協定」を締結した。
水コン協北海道支部が水
道事業に関する災害時協
定を道内事業体と締結す
るのは初めて。

協定は、地震
や風水害等の災
害により同市の
水道施設が被災
した際の相互協
力による早期復
旧を目的とした
もの。災害時等
に市からの要請

があった場合、同支部は
会員企業の中から派遣可
能な事業者を通知する。

市は当該事業者と業務
委託契約を締結し、被災
状況調査や応急仮工事の
ほか、本工事に係る調査
設計、災害査定資料の作
成などの技術支援を受け
る。

同市は昨年9月の北海
道胆振東部地震では断水
被害はなかったが、震源
に近い近隣事業体は大き
な被害を受けた。これを
踏まえ、今後の備えとし
て協定を締結し、緊急時
の復旧体制構築を図る。

1月28日に北広島市役
所で執り行われた調印式
には、上野正三市長、佐
藤謙二水コン協北海道支
部長らが出席した。

調印を終えた上野市長
は「大規模災害発生時に
は多くの機関との連携が
不可欠。このたびの協定
締結は当市にとって大変
心強く、安全・安心な水
の供給に大きく寄与する
ものと確信している」な
どと述べ、防災力の向上
に期待を寄せた。

佐藤支部長は「今後も
災害に対する事前の備え
を進めるとともに、万一
の発災時にはこれまで培
ってきた技術や経験を生
かして迅速に対応してい
く」とした。